



くまぐす先生

くまぐすサーチ

Vol.1

和歌山の豊かな自然・つながる生き物

ここでは動画の中で紹介した生物や場所を一目でわかるようにしてあるぞ。
ぜひこの資料を活かして各地にある和歌山の自然を見て感じてきてほしい！

1

豊かな森にくらす生き物

天然のブナ林も残る、和歌山県の豊かな森。ここでくらすクマタカやツキノワグマなどを紹介するぞ。

生き物の営みを詳しく掘り下げる「くまぐすスコープ」では腐葉土を作り出すダニに注目。森の豊かな土が良い水を生み、たくさんの生き物を育んでいる。



ブナ林

2

きれいな川にくらす生き物

水がきれいなことで全国に知られる和歌山県南部の古座川。清流を舞台に魚類と両生類を紹介するぞ。時間を早送りする「くまぐすワープ」では夜に活発に行動するアカハライモリに注目じゃ！



3

個性的な海の生き物

串本町のサンゴ礁の海を舞台に、ユニークな生き物たちの関わり合いを紹介。

「くまぐすスコープ」ではカイメンを利用してくらすカニの仲間アカゲカムリが登場じゃ。



4

カラフルな磯の生き物と自然を未来につなげる活動

田辺市・天神崎を舞台に、磯では生物が観察しやすいことを紹介するぞ。「くまぐすスコープ」ではカラフルで不思議な生き物、ウミウシが登場する。また、外山八郎先生に始まる、天神崎の自然を未来につなげる活動についてもふれていくぞ。

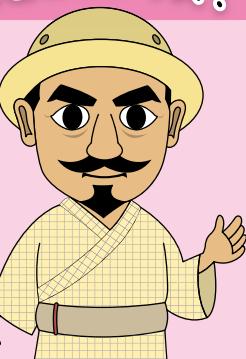


ふみちゃん

和歌山が大好きな女の子。
将来の夢は、いきもの博士。
今日もくまぐす先生といっしょに
和歌山の自然を探検します。

くまぐす先生のひとことクイズ！

動画の中ではたくさんの生き物たちが紹介されているが、どういった特徴があるかわかるかな？動画を見て、下の○○や●●の部分を埋めてくれ！



Q1

ニホンカモシカ

○○の実や葉を食べる草食の動物で、日本の●●●●●にも指定される貴重な生き物じゃ！

Q2

アカハライモリ

両生類のアカハライモリは子供の時は○○で、大人になると●●で呼吸する生き物なんじゃ。

Q3

ウミウシ

ウミウシは実は○○の仲間。成長するときに●●がなくなつて色鮮やかな体になるんじゃ。

答えはうらページの一番下にあるぞ！

豊かな森にくらす生き物



木の実などの植物を主食とするツキノワグマは、アリやハチなどの昆虫も食べる雑食の動物じゃ。木登りが得意で、樹の上で食事や休んでいることもあるのじゃ。



日本の特別天然記念物にも指定されているニホンカモシカは、木の葉や実を好んで食べる草食動物じゃ。“シカ”と名前についているが実はウシ科ということで、ウシやヤギの仲間もあるんじゃよ。



主にネズミやウサギなどの小動物を捕まえて食べるクマタカは肉食動物じゃ。多様な動物を食べることから、この鳥がいる森は豊かな自然があるともいえるのじゃ。

提供：有本智（NPO法人ビオトープ孟子）



ダニの仲間で、主に土の中に住んでいて落ち葉などを食べているヒメヘソイレコダニ。このダニのフンが森の土を豊かにする手助けをしているのじゃ。



きれいな川や海が好きで、「清流の女王」ともよばれるアユは川底の石の表面に生えている藻類（そうるい）をエサとして食べるんじゃよ。

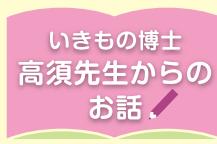
提供：古座川らんど



夕方から明け方にかけて動き出す夜行性の両生類のアカハライモリ。子供の時はエラを使って水中で呼吸をして、大人になるとエラがなくなる代わりに主に肺で呼吸をする生き物なんじゃ。



アユと同じくきれいな川などに生息するアユカケは、川底で石のようにじっと動かず、エサとなる小魚を待ち伏せる肉食ハンターなんじゃ！



アユは地域によって色々な名前があり、紀南ではアユの幼魚を「アイナゴ」と呼んだりします。

個性的な海の生き物



黄色い体に黒い5本のタテジマ模様が特徴のカゴカキダイは、いつも群れでくらしている。集まって泳ぐことで外敵から自分たちの身を守っておるのじゃ。

提供：南紀シーマンズクラブ



アケガカムリは甲殻（こうかく）類であるカニの仲間で、カイメンの一部を切り取って背負うことで外敵から身をかくして生活をしておる。

提供：南紀シーマンズクラブ



カイメンは岩にくっついて成長したあとは、そこから動くことがない面白い動物じゃ。体の中を通る海水に含まれるエサを取り込むことで、海の水をきれいにする役目も果たしておるのじゃ。

提供：南紀シーマンズクラブ

カラフルな磯の生き物



海の浅い場所に生息しているクロウニはコンブや海藻などを食べている。体は黒く見えるが、光の当たり方によって緑色にも見える面白い生き物じゃ。

提供：公益社団法人天神崎の自然を大切にする会



浅い海の岩場などでくらすヒヨウモンダコは、主にエビやカニ、貝や魚などをエサとして食べておる肉食動物じゃ。このタコは毒を持っているから、見かけても絶対にさわっちゃだめだぞ！

提供：公益社団法人天神崎の自然を大切にする会



「海の宝石」ともいわれるウミウシは、実は貝の仲間なんじゃ。小さな巻貝として生まれ、大きくなると貝の部分が退化し、美しい宝石のようなすがたになるんじゃ。

提供：南紀シーマンズクラブ



ここに行ってみよう！

くまぐす先生の
探索ポイント

和歌山県立自然博物館

■開館時間 = 午前9時30分～午後5時

（入館は閉館30分前まで）

■休館日 = 月曜日（祝日・振替休日の場合は次の平日）、
年末年始（12/29～1/3）

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp/>

